

1992年当時、umrautの音楽的コンセプトは、エモポップ（emotional pops）というキーワード。アコギ2人のユニット（Tsubo & Kuma）でしたが、“フォークっぽくならず、ひと味違っていこう”と走りだしました。しかし、2人には決定的な課題がありました。“歌もギターもさほど上手くない”ということです。ただ、学生時代（1981-90）にはなかった音楽的感性を自分達なりに追求しました。それから30余年。時はAIの時代、当時の2人が今回の音楽を聴いたらどんな感想を持つでしょうか？ある意味、残酷でもありますが、私達は互いにその出来を確認しながら作業を進めました。きっとPaul McCartneyだって、The Beatlesの頃にこんな未来は予想できなかったはずです。収録曲のクオリティは原曲を遙かに越えており、AI版の作者としては嬉しく思っています。映画〈Back To The Future〉のように原曲（親；ジョージ&ロレイン）がなければ、今回の作品は存在しません。作曲はせずとも、歌詞は自作でAIに指示/選別したため、自分達の作品（子；マーティ）が21世紀に格好良く蘇ったという不思議な時間の旅でした。収録曲は、1-16曲目までが、「水銀の海 1992（Essential版）；HPリンク」に収録されたもので、17-18曲目は、元々Complete版に収録していましたが、諸事情で割愛したもの、19-20曲目は、AI版で私的に甲乙つけがたく気に入ったversionをBonus Songsとして収録しました。一本の映画を観るように、アルバム全体を鑑賞下されば幸いです。

・ Contents

- | | |
|-------------------|----------------------------------|
| 01. ムーンライトが消える前に | 11. You made me |
| 02. 僕だけが・・・ | 12. 階段教室 402 |
| 03. 月下の街でピーターパン | 13. 風の吹く夜に |
| 04. 月の雫 | 14. My Favorite Town |
| 05. I Love You | 15. Sunny Side |
| 06. Forget Me Not | 16. Blue Mart |
| 07. Kill The Blue | 17. A Town in The Subway |
| 08. メランダの孤独 | 18. 彼氏と彼女のストーリー |
| 09. ぎこちないギター | ・ bonus songs (Out-Takes) ・ |
| 10. Stay By Me | 19. Kill The Blue (another ver.) |
| | 20. Blue Mart (another ver.) |

※ Lyrics ; Tsubo ; 01,02,06,09,12,18,
Kuma ; 04,07,08,11,14,15,16,17,
Kiyama ; 03,05,10,
Tsubo & Kuma ; 13,

All Tracks Prompt to SUNO AI (v4) by Kuma on iPhone 13 mini (2025.02.08 - 26)